



パンフの大量普及と活用で、増税ストップへ



福祉・年金を口実にした 異様な増税キャンペーンを許すな

福田内閣の成立に前後して、年金 大型の社説をかかげました。つづい
や医療などの福祉の財源確保を口 として今年1月7日には「日経」が開
実にした消費税の増税を当然とす きう員にわたる「研究会報告」で基
るキャンペーンが大々的に展開され 礎年金の全額税方式を提言、それ
ています。

昨年12月9日には「朝日」が 引き上げる必要があると主張しま
「消費税増税なしに安心は買えぬ」とした。

4月16日には「読売」が1、2、 3面、さらに18～21面までの4頁
は、全段おち抜きという異例の大特 集で、「年金改革案」を提起しまし
た。この内容はさらに補充されて5 月初めの「読売ウィークリー」30
頁を使って報道されました。

この間、「朝日」(2月19日)、
「毎日」(2月25日)それぞれ1
2面を使って特集を組んでいます。
これらに共通していることは、年
金や医療への国民の不安を利用し
て、消費税を一気に引き上げよう
との思惑です。

5月8日に開かれた全国の会の常
任世話人会議では、東京・文京の会
の経験に学んで、4人がパンフの登
場人物のお面をつけて、「わいわい
ガヤガヤ草の根問答」を熟演しまし
た(写真上)。

はじめは少しぎこちなかったの
ですが、だんだん熱が入って、増税計
画には怒りのこもったせりふまわし
に拍手喝さいでした。

お面は、パンフの登場人物をカフ
で拡大コピー、段ボールに貼りつけ
てつくりました。

パンフレットは、どこでも「わか
りやすい」と大好評で、これまでに
4000部の注文が東京の会に寄せ
られています。

見本をお送りした「NO消費税」

「ガヤガヤ草」 パンフで楽しく学習会

の読者の方からは、近所やお知り
合いに普及するからなどという部

10部、30部と注文が寄
せられています。



「ガヤガヤ草」の増税許すな
キャンペーンの現場
5月24日撮影

夏季募金と事業活動に ご協力をお願いします

冒頭の記事にもあるように、増税派は年金などの福祉を“人
質”にして、消費税を一気に引き上げようとの大戦略をはじめ
ています。いよいよ草の根からの活動強化が求められています。
また、事務所の移転にともなう出費もあり、資金の確保が例
年にも増して必要になっています。つきましては、夏の募金へ
のご協力と、パンフをはじめ宣伝グッズの普及にお力をおた
ださるようお願いいたします。いずれも送料は実費です。

- ☆パンフ「年金・社会保障のため 消費税増税!?!」1部100円
- ☆「消費税なくし隊」のぼり 1本1,000円
- ☆「なくしタイ(鯛)」携帯ストラップ 1個500円
- ☆新版 紙芝居(A3見開き/ケース入り) 1セット2,000円
- ☆東京の会会報200号縮刷副本 1冊2,000円(会員価格)



ミーティングで、なくす会の存在をアピールした2本のノボリ

消費税 憲法かえれば 戦争税

全国の会では、平和行進の出発式にた（一本1000円）。合わせて「消費税 憲法かえれば 戦争税」と染め抜いたノボリを作成し、5月6日の平和行進出発式（夢の島公園）に参加しました写真。



【板橋】板橋では、5月23日に大山駅前で、なくす会と消費税廃止板橋連絡会が共同して定例宣伝をおこないました。
ハンドマイクで「基礎年金の国庫負担を消費税による全額税方式にするという口実で、消費税の大増税への大合唱がはじまっています」「庶民の悪政



左が次保田さん、右が奥川さん

への怒りで、増税をストップさせましょう」と訴えました。
この行動には18人が参加し、96筆の請願署名が寄せられました。
【杉並】杉並の会は、5月24日阿佐ヶ谷駅前で宣伝しました。
区内の全駅宣伝の2巡目も6ヶ月たち、東京十建杉並支部や杉並民商との連携もすっかり定着しました。
この日は、途中からあいにくの雨となり、早めに切り上げることになりましたが、署名が12筆寄せられました。
この日の参加者は10人でした。

「朝日07年12月9日付社説「消費税増税なしに安心は買えない」と題する社説に対しかつて出版社に勤めていた杉森元貞さんが「朝日」新聞の論説委員あてに送付した意見書のしきぎ「紹介します（前回は月報）」

朝日新聞社 論説委員殿

社会保障と消費税について(しき)

三、「必需品は軽減税率、コメなどは非課税」は実現させようか

貴紙の社説では、消費税の逆進性を認めた上で「必需品は軽減税率、コメなどは非課税に」とその欠陥を押さえる方策を付記されておられます。しかしその点は、物品税を廃止して消費税を導入したときにも、また5%増額したときにも論議にはのぼりませんが、排除された上で設置増額されたもので、

「これまでも、貴紙にしても民主党にしても、「付記」のつかない消費税を否認してきたでしょうか。その欠陥を十分に承知で、その施行を是認されてきたので

はないでしょうか。

今回の消費税の増額に関してはそれはあり得ないと言明しようでしょうか。もし今後についてもこれ

まどと同様法として強行された場合には、施行を是認されるではありませんか。だとすれば今回の社説の付記は、実質的には消費税増税のための論議への道なりじしかすぎないのではないのでしょうか。もしそうではないといわれるのであるならば、「付記」は絶対条件（付記）の条件なしには是認しないという意味での「この明確な意見表明をされることを望みます。それなしには「付記」を信用するわけにはいきませぬ。

四、「社会保障制度を消費税で賄う」とい

ことが成り立つか

現代社会、経済組織の中で、生活や健康を阻害されている人々を支えるための「社会保障制度」を特

に負担の度合いが重くなる貧しい人たちにまで負担させざる消費税で賄うことなべかなとがあらうでしょうか。

上記(一)と(二)で述べたように、社会保障制度と消費税とは根元的に相反する矛盾関係にあるものです。その根元的に相反する両者の結合は許されることではありません。もし、百歩譲って国民の犠牲においてその結合をさせざるをえないとした場合でも、貴紙の社説で触れられている付記を絶対条件にすることは、欠かすことのできないことではないでしょうか。

② 国家財政の根本的組み替え

国家財政が社会保障費の増額に耐えられないとされています。はたしてどうでしょうか。「存知のよ」に、企業所得、高額個人所得に対する課税は「数年で大幅に軽減されました。防衛省の経費は増大する一方で、アメリカへの支払いは、無駄で高額な武器購入まで支払い放題です。そうした企業所得の

税の軽減や、こうした無駄な防衛経費は、国民が負

圧倒的国民の格差が増大し、貧困が進行しています。グローバル化に対応するためと言っても、トヨタやアメリカの巨大企業の懐を肥やしても、国民の生活には全く利益はなっていない。国民の財産である国債や投機などの多くがアメリカに投資され、はげたかファンドや謀略的なサブプライムローンなどによってその価値を半減させ、わが国の資産は大幅に低減しております。

以上、簡単に社会保障制度と消費税の関連について述べましたが、「こ」に、社会保障制度の根本理念と消費税の国民にもたらしている、またもたらす深刻な実態について、貴紙の重ねての真摯な究明を伏して熟望する次第です。

2008年1月20日
杉森 元貞(年齢 75歳無職)

CHIHIRO CALENDAR
いわさきちひろカレンダー
世界中のこども みんなに
平和じあわせを
このいわさきちひろのねがいをこめて、いわさきちひろカレンダーは、手から手へ、心から心へ、日本中にひろがっています。
いわさきちひろ作品普及会

訃報
東京の会結成時から常任世話人や世話人として活躍された中村百合子さんが5月14日に逝去されました。
94年6月2日に日比谷野外音楽堂で開かれた、消費税増税反対緊急集会では、自作のオッペン節を披露、参加者を激励しました。
東京の会の会報縮刷版(CD-ROM版)で検索すると、24頁(箇所)登場されており、生前の活躍が偲ばれます。
ご冥福をお祈りいたします。